

科目名	デザイン論 2						年度	2025	
英語科目名	Design theory 2						学期	後期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小川知子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築家・インテリアコーディネーター		
<b>【科目の目的】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業におけるデザイナー（インテリア）の役割を探求することができる。</li> <li>・基礎～実践レベルへのデザインの考え方を身につける。</li> <li>・インテリアコーディネーター資格試験の問題を解くための知識を習得する。</li> <li>・インテリアにおける専門用語を覚え、使用できるようになる。</li> <li>・人体寸法や人間工学を理解し、今後の課題に取り入れることができるようになる。</li> </ul>									
<b>【科目の概要】</b> インテリアを構成する要素（構造・法規・設備）について学ぶ。									
<b>【到達目標】</b> A：知識力/デザインの基礎知識とビジネスの基礎知識を身につける B：社会性/ビジネスの現場に必要なスキルを身につける C：遂行力/プレゼンテーションや企画書の作成など制作時間と提出期日を考慮して課題提出ができる									
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中メモを取り、わからないことは質問すること。復習の習慣を身に付けること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	デザインの歴史や理論を独自に解釈し、デザインの可能性を新たな視点で切り拓くことができる		デザインの歴史や理論を深く理解し、デザインの可能性を新たな視点で探求することができる				デザインの歴史や理論の概要を理解したが、デザインの可能性を探求するまでに至らない		
到達目標 B	主体的に授業参加し、インテリアの法規や設備について丁寧に説明できる		インテリアの法規や設備について言語化して説明することができる				インテリアの法規や設備について言語化して説明することができない		
到達目標 C	デザインに対する独自の視点や批評性を持って、新たなデザインを考え出すことができる		デザインの思考力や表現力を身につけることで、デザインの可能性を広げることができる				デザインの思考力や表現力を身につけたが、デザインの質を向上させることができない		
<b>【教科書】</b> インテリアコーディネーターハンドブック総合編（上・下）									
<b>【参考資料】</b> 課題ごとに資料を用意する									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン論2			年度	2025
英語表記		Design theory 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	建築の構造・構法①	建築の構造・構法を理解する	1 建築構造	建築構造を理解する	1	
			2 建築構法	建築構法を理解する		
2	建築の構造・構法②	建築の構造・構法を理解する	1 建築構造	建築構造を理解する	1	
			2 建築構法	建築構法を理解する		
3	インテリアの構法①	インテリアの構法を理解する	1 インテリア構法	インテリアの構法を理解する	1	
4	インテリアの構法②	インテリアの構法を理解する	1 インテリア構法	インテリアの構法を理解する	1	
5	造作と造作材	造作と造作材を理解する	1 造作家具	造作家具について理解する	1	
			2 造作材	造作材について理解する		
6	材料・機能材料と工法①	材料・機能材料と工法を理解する	1 材料・機能材料	材料・機能材料について理解する	1	
			2 材料の構法	材料の構法を理解する		
7	材料・機能材料と工法②	材料・機能材料と工法を理解する	1 材料・機能材料	材料・機能材料について理解する	1	
			2 材料の構法	材料の構法を理解する		
8	環境工学①	環境工学を理解する	1 環境工学	環境工学を理解する	1	
9	環境工学②	環境工学を理解する	1 環境工学	環境工学を理解する	1	
10	環境工学③	環境工学を理解する	1 環境工学	環境工学を理解する	1	
11	住宅設備①	住宅設備を理解する	1 住宅設備	住宅設備を理解する	1	
12	住宅設備②	住宅設備を理解する	1 住宅設備	住宅設備を理解する	1	
13	住宅設備③	住宅設備を理解する	1 住宅設備	住宅設備を理解する	1	
14	インテリア関連の法規、規格、制度表現方法	インテリア関連の法規、規格、制度表現方法	1 インテリア関連法規	住宅設備を理解する	1	
			2 インテリア関連規格・制度	インテリア関連規格・制度を理解する		
			3 インテリアの表現方法	インテリアの表現方法を理解する		
15	授業のまとめ	授業のふりかえり	1 試験内容まとめ	授業を振り返り要点をまとめることができる	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等